



## 平成 29 年 10 月 21 日の東京湾再生官民連携フォーラム 第 5 回通常総会における 来生議長あいさつ

東京湾再生官民連携フォーラムは、この 5 年間着実に活動してまいりました。フォーラムには 2 つの大きな軸があります。その一つはプロジェクトチーム活動による政策提案を作ること、もう一つが一般の大勢の方々に東京湾の良さを知っていただく東京湾大感謝祭があります。

これまで毎年政策提案を行ってきましたが、今年度は政策提案を具体的に取りまとめるまでには至りませんでした。

2020 年東京オリンピック・パラリンピックを控えて、東京湾でのトライアスロンなども水質がどうかという問題もありますが、今年度は、東京湾でもっともっと海水浴ができるようにということで政策提案を検討してきましたが、10 月開催の企画運営委員会での討議結果、より具体的な政策提案にしたほうが良いということで、今年度は見送るという結論になりました。

もう一つの課題として、フォーラムの法人化を検討してきましたが、様々な観点から法人化のメリット、デメリットを比較検討しながら進めてきました。まだ総会でご報告できる一定の結論に至ってはいませんが、何とか今年度中には一定の方向性を出して、来年度の総会にはみなさまにご披露し検討いただくことができると考えています。

今年度検討すべき要素が多々ある中で今日を迎えています。来年度に向けてなお一層努力を続けてまいります。東京オリンピック・パラリンピックに象徴されるように、東京湾を日本が世界に誇れる海にすべく官と民が携えて活動していくフォーラムの主旨、精神が、ますます社会的重要性を持つてくると考えています。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

以上

(本議長挨拶は、平成 29 年 10 月 21 日 (土) 第 5 回通常総会フォーラム議長挨拶を事務局がまとめたものです。)